

「やったらできた!!」を実感しよう!! ~基礎力診断テスト(進路マップ)~

6月9日(水)は「基礎力診断テスト」の日です。  
1年生にとっては初めて受ける「基礎力診断テスト」。年に2回しか受けないテストなので、効果が十分に発揮されるよう、計画的にしっかりと取り組んでいきましょう。

ちなみに、**2・3年生は**昨年度の1月に受験していますが、**その前の年度に比べ、全体の成績が向上している**ことがデータから明らかになっています。皆さんが毎週取り組んでいる「校内検定」や授業、「キャリアパスポート」での目標設定など、地道な努力が功を奏しているのでしょう。

さて、この「基礎力診断テスト」。単なる学力試験と思いませんか??  
実は、学力以外にも、以下のような多角的な測定ができるのです。

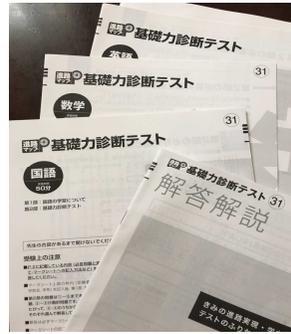


表1 「基礎力診断テスト」で分かること

① 教科の <b>学力</b> を測る	<b>GTZ</b> (学力到達ゾーン)	進学希望者・就職希望者の両方の生徒に役立つ、17段階に細かく区切った学力のものさし
② 学力の <b>土台の完成度</b> を測る	<b>学習力レベル</b>	学習へ向かう意欲や姿勢を、アンケート形式で5段階に分類
③ <b>進路選択の完成度</b> を測る	<b>進路意識レベル</b>	前年度との比較で、どれだけ進路意識が高まっているか判定
④ 自分の <b>性格</b> を分析する	<b>自我同一性</b>	自分がどのような性格なのか分析することで、何が「強み」なのか掘り下げ、進路選択や面接時の答え方に役立たせる

現在みなさんが取り組んでいる「One Week Trial」から6~7割程度出題されます。なので、**しっかりと事前の準備をしていれば必ず得点できます**。決まった範囲の学習をきちんと終えるための、「**計画力**」「**実行力**」「**理解力**」「**振り返り力**」などが養われます。残り3~4割程度は、One Week Trialをベースとした応用力を測定しますので、**しっかりと実力がついてい**るかも同時に確かめることができますね。3年生は進路決定にも関連していきますので、特にきちんと押さえておきましょう!

受験した後は、各自に渡されるレポートのGTZ表を使って、自分の成績(実力)が、目的とする就職先や進学先とどれくらいギャップがあるか確認します。また、次の1月に行われる「第2回基礎力診断テスト」や、定期考査・進路希望等の目標設定に役立ってます。

「基礎力診断テスト」では、学力だけでなく、自分の性格を「**社会型**」「**発達型**」「**途上型**」「**自我型**」に分類し「**自我同一性**」も測定できます。自分の性格を**俯瞰的・客観的に見ること(メタ認知)**によって、自分は**どのような進路先がいいのか**考える基礎にしたり、**面接の時にどうすれば自分らしい解答になるのか**考えたりすることができます。この点も、「基礎力診断テスト」の特徴です。

まずは基礎力診断テストで「PDCAサイクル」を自分なりに構築しましょう。そのあと、定期考査・校内検定・資格試験などに拡大して、自分の習慣にするとよいと思います。このルーティーンが実力アップと進路目標へ近づくために大切です。

基礎力診断テストまであと2週間。やればできる!「**やったらできた!!**」を実感しましょう。



(ア) GTZの推移  
右上がりになるよう目標設定

(イ) 教科ごとのレポート  
細かい項目ごとに弱点やつまずきを知る

図1 基礎力診断テストの個人レポート例

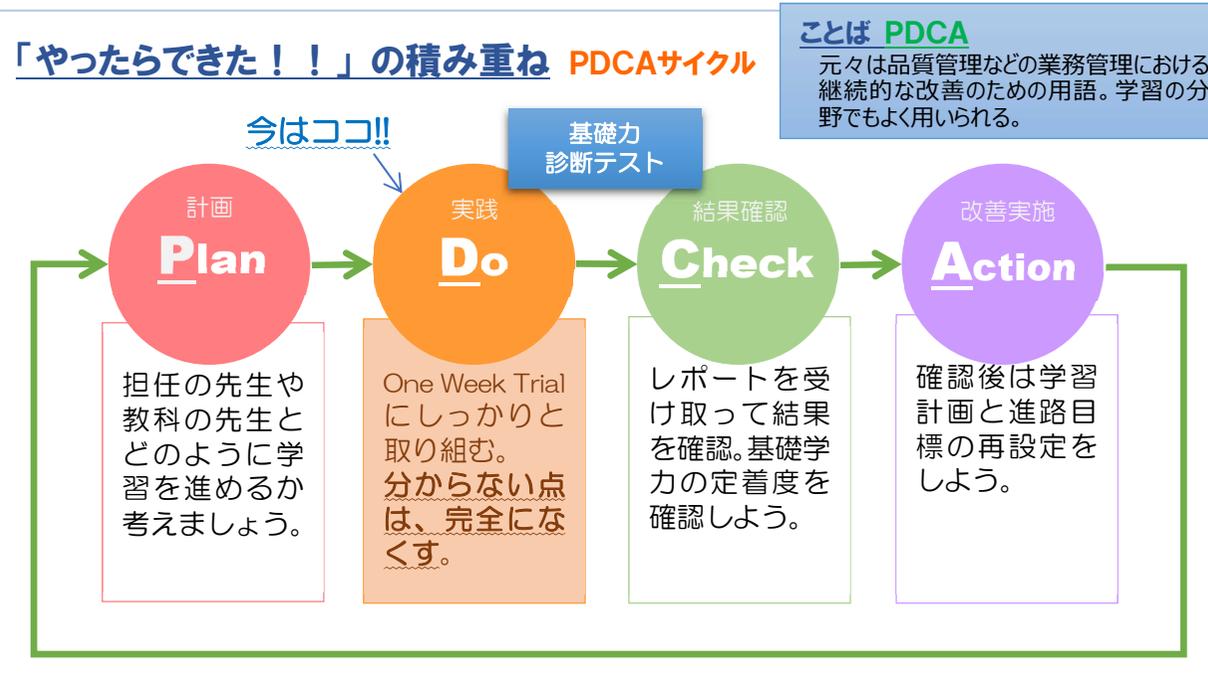


図2 「やったらできた!!」の積み重ね ~PDCAサイクル~